

北辰小学校 森林教室

第2回 ~森林のはたらってどんなもの?~

新潟県南魚沼市立北辰小学校4年生の児童56名を対象に、「総合的な学習の時間」の一環で森林教室を実施しています。2回目の今回は森林が私たちの生活にどのように欠かせないのか、森林の治水機能の学習や木工などをおして学びました。

森林に降った雨の行方

森林の治水機能を知るために、森林に降った雨の行方をスライドを使って学習しました。

「学校のグラウンドに降った雨と、森林に降った雨、それぞれどんなふうに流れていくかな？」

山を守る森林のはたらきの実験

雨どいを切って作った装置に、学校林「辰の子の森」の林床から持ってきた”森林の土”と、学校のグラウンドから持ってきた”グラウンドの土”を入れ、じょうろの水の”雨”をかけて「雨のシミュレーション」を行いました。”雨”が降るにつれて、”森林の土”と”グラウンドの土”で水の流れ方や、土の状態が変わっていく様子を見ることができました。

“雨”が降った時に“森林の土”と”グラウンドの土”でどんな違いがあるかな。よく見てね。
“雨”が降りますよ～。

あ！土が崩れ始めている！



学校林「辰の子の森」の林床から持ってきた“森林の土”は、枝や草の根のおかげで、水はしみ出てくるけど崩れない！

学校のグラウンドから持ってきた“グラウンドの土”は、どんどん崩れて流れてしまうよ。



丸太切り体験

丸太を自分で切ってみよう。



「のこぎりがひっかかるよ」
「リズムが大事、1, 2, 1, 2…」



木工教室（小枝えんぴつ作り）

第1回の森林教室で学校林「辰の子の森」からそれぞれが持って帰った小枝を使って、「本当に使える小枝えんぴつ」を作りました。



小枝を小刀で削るのも、手動ドリルで穴をあけるのも、けっこう大変。
「お願い、手伝って〜!」



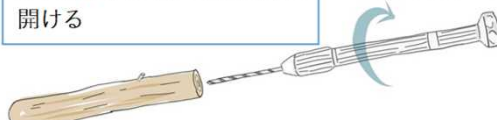
～小枝えんぴつの作り方～

【使う道具】

手動ドリル、えんぴつ芯、ポンド、
カッターまたは小刀



1.手動ドリルで、小枝に穴を開ける



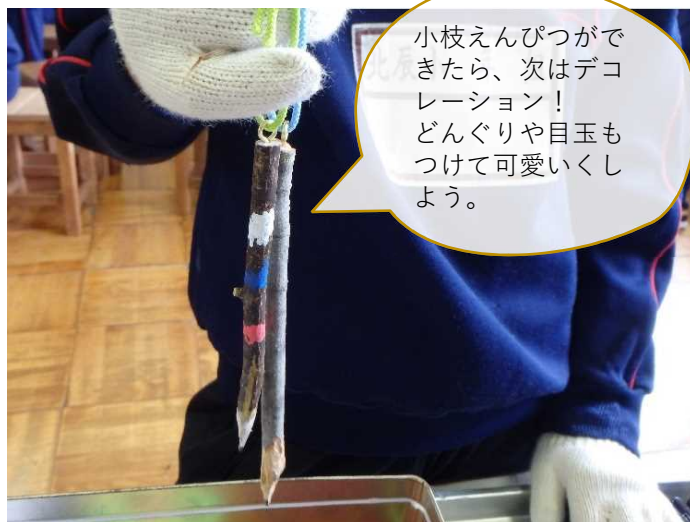
2.えんぴつ芯にポンドをぬって、穴に差し込む



3.カッターで小枝を削って、えんぴつの形にととのえる



完成!「楽しかった!」



自分で加工してみると、木材は思ってるより硬いことに気が付きます。